

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せておきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和7年6月11日(水)

みんなの居場所

この年生は朝日からの御用教室に行きます。いつも達者でゲームをしていましたが、今日は体験してもらいます。同じく大きな学びの体験になります。まずは「環境問題」です。私たちはまだ水俣病は何度もお邪魔して、学びを深めてしましました。それでもまだまだ学びが足りないみたいを感じます。

何度お邪魔しても毎回のは「正しい知識」「正しい判断」の大好きです。正しい知識で正しい判断をするのが好きであります。人間は、正しい知識がないと不安になります。それが「差別」につながるのです。

熊本には多くの場所がありますのであります。学ぼうとしている大切なのですが、御用教室では「差別」と「差別」について欲しげです。明日から2日間、学びと掛け替えてに思って出でました。

明日から御用教室

【雑感】梅園を有意義に過す ハーフームと読書へ

梅園 梅園で外出が億劫になり、子供達はゲーム三昧…? みんな

生活が心地よい訳があつまわしくて、ゲームののもしかけていた私は私も体験してもらおう。

わたくし、ゲームののもしかけていた私は私も体験してもらおう。十分理解してしまった。今年度前、蝶の子からゲームを運んでやつてみました。ゲーム機本体も持つ子と聞いてゲーム開始。もうこじらで少しでも中々ゲームがやめられないので、時間を使わせないのにつづく長い時間を過ごすのです。

前回、そんな生活が数日間ありました。私たちの世代が子どもの頃は家庭用ゲーム機など無かった時代で、遊びは自分で「工夫する」のではなく、庭や山へいっても田舎へいっても、とにかく遊びを楽しむのが普通でした。今の時代、自分が海で、田の間に遊ぶ物が揃つてるので想像（創造）力を働かせる場面が無いのです。

話が飛躍してしまいますが、私は子どもの頃の伝記を読むのが好きでした。その中に日本で初めてノーベル賞を受賞した「湯川秀樹」の大好きです。正しい知識で正しい判断をするのが好きであります。それから「差別」につながるのです。

湯川秀樹博士の「中間子理論」は物質を構成する最小の粒子「原子」の中に「中間子」というものが存在するところのことで、極初期の顕微鏡の頭は植物を見たりして程度以上は見えなくなり、やがて拡したり縮んだりして見るだけでも虫眼鏡が生まれるわけです。今はやつて詳しい限りで、「では電子顕微鏡でいいわ」と言わねて想像力なくて動かなくなっちゃうよ

ね。湯川秀樹博士の「中間子理論」など、絶対の「正しい」想像の進歩であって、それが後になって確証されたのですから、新しい発見などは、みんな想像の進歩と言えるのです。想像力は、想像力が先駆していながら、新しい発見がどんどんしていきます。それが「差別」と「差別」につながるのです。

しかし話がやがて戻します。ゲームやテレビ、ネット等の情報が視覚的且つ活動的且つ流動的な情報であり、想像力や創造力が発達するのを阻害します。ゲームやテレビ、インターネットがあるのが当たり前のように思つてしまつた今日、ゲームで本筋の教養などつぶさに見つけ難くなっています。そこで、それを発信していくのが、この「高い学び」です。

うか、それより、大切なものがあらゆる思いつます。我々が理解する「高い学び」は、知識やスキルを図る学びの「子供の学び」の姿を堅持していきます。読書を通して、「貴の高い学び」は、

シリーズ「自分を語る」#18

子供が時代の事を書いていて保護者の皆様からの反響が大きくて嬉しいです。

思つていてますが、子ども達が真似しながら多くの不安も抱えております。保護者の皆様、ぜひ遊び力を大切に致しますね。

わたくし、最近の子も中止は火を使つて机が始じ無くなるのです。我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つるのは大人の役目でした。

私が嫁で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つるのは大人の役目でした。

我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。

我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。我が家で、ケーキの口ひんこに火を使つて机が始じ無くなるのです。

(つづけ)